関東地方

名前

問1　関東平野の東部に位置する茨城県の南東部では、標高が約100mと比較的平坦な地形を活かした農業が展開されています。この地域では、ビニールハウスなどの設備を用いて温度を管理することで、ピーマンなどを一年中生産する工夫が見られます。このように、人工的な設備を利用して作物を育てる栽培方法を何と呼びますか。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 有機栽培
2. 施設栽培
3. 促成栽培
4. 抑制栽培

問2　日本の諸地域のうち、関東地方の北西部に位置する群馬県の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 岐阜県公立入試 類似）

1. 県庁所在地である前橋市は、古くから生糸の集散地や製糸業の中心地として栄えた。
2. 県庁所在地である伊勢崎市は、織物業の伝統を背景に現在の県政の中枢となっている。
3. 県庁所在地である高崎市は、官営模範工場の設置をきっかけに工業都市として発展した。
4. 県庁所在地である富岡市は、世界文化遺産に登録された製糸場を中心に観光業が盛んである。

問3　成田国際空港における貿易の状況について、航空貨物としての特徴を踏まえた記述として、最も適切な背景や理由を説明しているものはどれですか。（2021年 香川県公立入試 類似）

1. 日本最大の輸入相手国である中国に最も近いため、安価な原材料を大量に受け入れる拠点となっているため。
2. 京葉工業地域の中心に位置し、石油化学コンビナートで生産された製品を直接輸出する役割を担っているため。
3. 船舶に比べて輸送時間が大幅に短縮できるため、製品寿命が短い精密機器や、緊急を要する部品の輸送に適しているため。
4. 広大な敷地を利用して、自動車を数千台規模で一時保管し、そのまま海外へ積み出す設備が整っているため。

問4　日本の工業統計において、千葉県を主軸とする工業地域が、隣接する東京都や神奈川県を中心とする工業地帯と比べて、石油化学工業や鉄鋼業の割合が高い理由として最も適切な説明を選択してください。（2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 首都圏の巨大な消費市場に近いため、パンや清涼飲料水などの食料品工業が優先的に配置されたため。
2. 広大な埋立地を確保し、大型船舶が接岸できる大規模な石油化学コンビナートや製鉄所を建設したため。
3. 歴史的に中小企業による熟練した加工技術が蓄積されており、精密機械の製造に適していたため。
4. 周辺に大規模な油田や鉄鉱石の採掘場があり、原料を安価に調達することが可能だったため。

問5　東京都における渋谷区のような都心部と、八王子市のような郊外の状況を比較したとき、郊外で人口が増加する主な要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、都心部は地価が極めて高く推移しており、郊外は地価が低く安定しているものとします。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 都心部と比較して郊外は地価が高いため、資産価値を求める人々が流入しやすいから。
2. 都心部と郊外では地価に差がないが、郊外の方が大規模な商業施設が多いため。
3. 都心部と比較して郊外は地価が安いため、住宅を求める人々が流入しやすいから。
4. 都心部は郊外よりも利便性が低いため、地価に関わらず人々が郊外へ避難するから。

問6　2015年の野菜産出額の統計において、1位の北海道に続き、2位に茨城県、3位に千葉県、7位に埼玉県、9位に栃木県と、関東地方の各県が上位に多くランクインしています。このように、大都市の周辺で行われ、消費地に近い利点を生かした農業を何といいますか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

1. 高冷地農業
2. 施設園芸農業
3. 近郊農業
4. 促成栽培

問7　関東地方の北西部に位置する内陸県で、県庁所在地を前橋市に置く県はどこですか。この県は東京都から埼玉県を経て長野県へと向かう北陸新幹線の沿線にあり、交通の要所となっています。（2016年 静岡県公立入試 類似）

1. 群馬県
2. 茨城県
3. 栃木県
4. 山梨県

問8　香取市佐原の歴史的景観が形成された背景として、地理的な条件と歴史的な背景を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 明治時代以降に海外貿易の拠点として開港されたため、西洋風のレンガ造りの建物が並ぶ港町として発展した。
2. 広大な平野を活用した大規模な稲作を推奨するため、幕府が農民の居住区として計画的に建設した集落である。
3. 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。
4. 急峻な山々に囲まれた要害の地であったため、戦国時代の城郭建築を中心とした都市景観がそのまま残された。

問9　日本の地域別農業産出額の内訳を示した統計において、米や畜産を抑えて野菜の割合が全体の約40%と最も高くなっている地域があります。この地域が、東京などの大消費地に近い利点を活かして、新鮮さが求められる野菜などを生産し出荷する農業の形態を何と呼びますか。（2026年 秋田県公立入試 類似）

1. 北海道で行われている大規模な畑作
2. 東北地方で行われている稲作中心の農業
3. 関東地方で行われている近郊農業
4. 九州地方で行われている畜産主体の農業

問10　2015年に作成された千葉県浦安市付近の地形図において、中央を流れる河川に架かる橋（地点A）から南東へ進むと、建物が密集し細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る商店街（地点B）があります。さらに地点Bから河川を渡り、北西から東へと進んだ地点Cには、「文」の字を記号化した地図記号があります。この地点Cにある施設として正しいものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 病院
2. 市役所
3. 警察署
4. 小学校や中学校

問11　明治時代以降、官営模範工場である富岡製糸場が設立されるなど、製糸業が大きく発展した群馬県において、現在、県庁所在地となっている都市はどこですか。（2015年 岐阜県公立入試 類似）

1. 高崎市
2. 前橋市
3. 富岡市
4. 桐生市

問12　栃木県の産業について、足尾銅山のような歴史的背景を持つ鉱業から、現代の工業へとどのように変化しましたか。現在の栃木県の工業的特徴を説明したものとして最も適切なものを選んでください。（2023年 京都府公立入試 類似）

1. 渡良瀬川の水力を利用したアルミニウム精錬が、県を代表する製造業となっている。
2. 輸出向けの絹織物を中心とした軽工業が、現在も県全体の製造品出荷額の大部分を占めている。
3. 東北自動車道などの高速道路沿いに、自動車や電気機器などの機械工業の工場が多く進出している。
4. 広大な平野を活かし、製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並ぶ重化学工業地帯を形成している。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 施設栽培	ビニールハウスや温室などの施設を使い、作物に適した環境を人工的に作り出す農業を施設栽培と呼びます。茨城県ではこの手法を用いることで、季節を問わず安定的にピーマンなどを生産し、市場へ供給する体制を整えています。
問2	答え 1 県庁所在地である前橋市は、古くから生糸の集散地や製糸業の中心地として栄えた。	群馬県は古くから養蚕や製糸業などの絹産業が盛んな地域でした。その中心都市である前橋市は、現在も県庁所在地として行政・経済の拠点となっています。高崎市は交通の要所、富岡市は富岡製糸場の所在地ですが、いずれも県庁所在地ではありません。
問3	答え 3 船舶に比べて輸送時間が大幅に短縮できるため、製品寿命が短い精密機器や、緊急を要する部品の輸送に適しているため。	航空貨物の最大のメリットは「速さ」にあります。成田国際空港が日本の輸出額でトップクラスなのは、流行や技術革新のスピードが速い電子部品や精密機械、あるいは鮮度が求められる品物を、短時間で世界中に届けることができるからです。自動車の輸出は広大なヤード（保管場所）を必要とするため、通常は海港で行われます。
問4	答え 2 広大な埋立地を確保し、大型船舶が接岸できる大規模な石油化学コンビナートや製鉄所を建設したため。	京葉工業地域は、先行して発達した京浜工業地帯（東京・神奈川）に比べて後発で整備されたため、計画的に大規模な埋立地が作られました。そこに原料を直接輸入できる大型港湾と一体化した石油化学コンビナートや製鉄所が誘致されたため、基礎素材を供給する重化学工業が特化して発達したという因果関係があります。
問5	答え 3 都心部と比較して郊外は地価が安いため、住宅を求める人々が流入しやすいから。	都市の人口移動には地価が大きく関わっています。都心部（渋谷区など）は利便性が高い一方で地価が極めて高いため、一般の世帯が住宅を取得することが困難です。そのため、都心部と比較して地価が安い郊外（八王子市など）に住宅を求める人々が流入し、結果として郊外の人口が増加する要因となります。このように、地価の差は居住地の選択において決定的な役割を果たします。
問6	答え 3 近郊農業	東京などの大消費地を控える関東地方では、市場への近さを生かして新鮮な野菜を迅速に出荷する農業が発達しました。統計で上位に入っている茨城県や千葉県は、その代表的な地域です。輸送距離が短いため、鮮度を保ったまま市場に供給できることが大きな強みとなっています。
問7	答え 1 群馬県	関東地方には海に面していない「内陸県」がいくつか存在しますが、その中で最も北西に位置するのが群馬県です。東京都から見て、北側に位置する埼玉県のさらに北西に隣接しており、北陸新幹線や上越新幹線が通る高崎駅などを擁しています。また、県庁所在地は前橋市です。
問8	答え 3 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。	佐原が「北総の小江戸」と呼ばれるほど発展したのは、利根川を利用した舟運（水上輸送）の要衝だったからです。周辺で収穫された米や特産品を江戸へ運ぶため、中継地点である小野川沿いに多くの問屋や蔵が建てられました。このような水運との深い関わりが、川に面して建物が並ぶ独特の歴史的景観を生み出す要因となりました。
問9	答え 3 関東地方で行われている近郊農業	関東地方は、東京や横浜などの人口が密集する大消費地を抱えています。野菜は鮮度が重要であり、輸送距離を短くできる都市近郊での栽培が有利に働きます。このため、関東地方の農業産出額では野菜の占める割合が非常に高く、約4割に達するという特徴があります。
問10	答え 4 小学校や中学校	地形図において「文」の字を記号化したものは、小学校や中学校を表す地図記号です。地域調査では、橋（地点A）や特徴的な景観を持つ商店街（地点B）といった目印を基準に、地形図上の記号と実際の土地利用を照らし合わせる読図の技能が求められます。地点Bのような細い路地が入り組んだ地域は、計画的に整備された新市街地ではなく、古くからの歴史を持つ居住区であることを示しています。
問11	答え 2 前橋市	群馬県の県庁所在地は前橋市です。前橋市は古くから「糸のまち」として知られ、生糸の集散地や製糸業の拠点として発展してきました。選択肢にある富岡市は世界遺産の富岡製糸場がある都市、高崎市は交通の拠点としての役割が強い都市であり、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 3 東北自動車道などの高速道路沿いに、自動車や電気機器などの機械工業の工場が多く進出している。	栃木県はかつて足尾銅山などの鉱業が盛んでしたが、現在は北関東工業地域の一部として工業が発展しています。特に、東北自動車道や北関東自動車道などの高速道路網が整備されたことにより、内陸部へのアクセスが向上したため、その沿線に広い用地を確保した自動車関連や電気機器などの機械工業の工場が数多く集まっているのが特徴です。